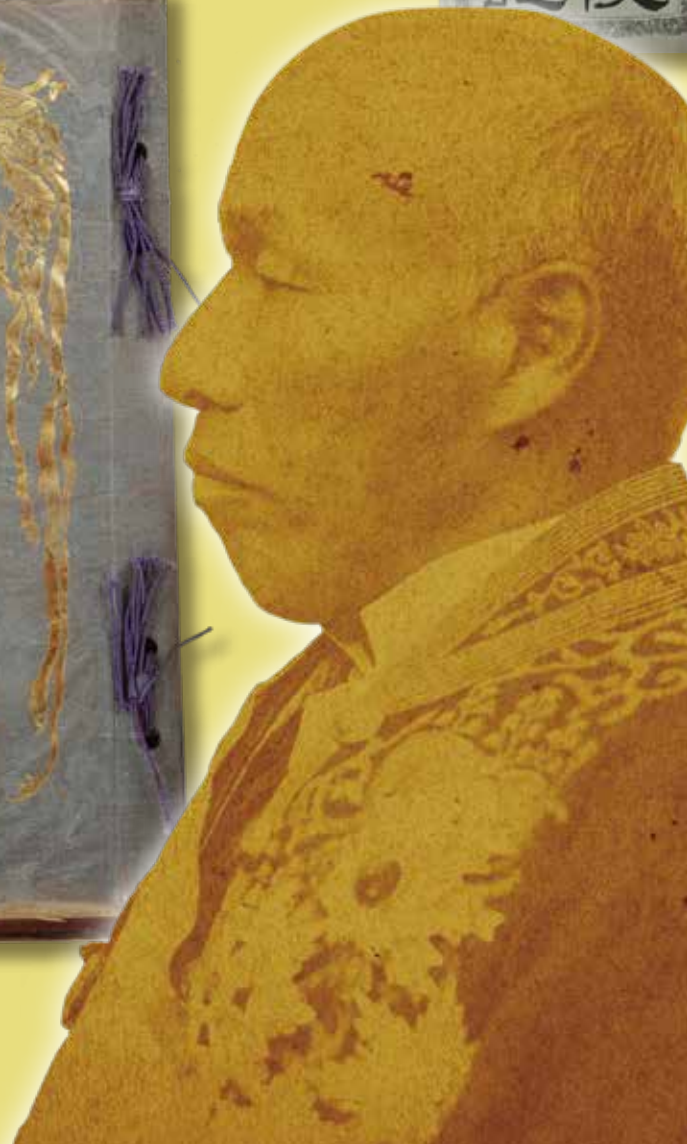


令和2年度 大隈重信記念館企画展

収蔵品展

今につながる 大隈の遺産

Okuma
～あるのである～
Memorial Storage Collection



 **大隈重信記念館**

会場 ● 大隈重信記念館 2階企画展示室

【入館料】

大 人 : 330円 (20人以上の団体は220円)

小・中学生 : 160円 (20人以上の団体は110円)

主催 ● 佐賀市、佐賀市大隈重信記念館

協力 ● 早稲田大学大学史資料センター、神崎市教育委員会、国立国会図書館、佐賀新聞社、佐賀県立図書館、郵政博物館、参議院広報課、まきの会 (順不同)

令和3年
1/9 (土) ▶ 3/28 (日)

9:00～17:00 (入館は16:30まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策への取り組みにご協力をお願いいたします。感染拡大状況によっては臨時休館する場合がございます。

令和2年度 大隈重信記念館企画展

収藏品展

今につながる 大隈の遺産

Okuma
~あるのである~
Memorial Storage Collection

令和3年 1/9 (土) ▶ 3/28 (日)

9:00~17:00 (入館は16:30まで)

明治新政府の構築

岩倉使節団の留守を預かる大隈は、鉄道の敷設、新貨幣制度、郵便事業、太陽暦の採用といった施策を次々に実行していきました。

さまざまな本たち

欧米諸国の文化を伝える澳国博覧会の報告書。説明が英語で書かれた写真帖や「開国五十年史」は開かれた日本をアピールしていました。

教育へのまなざし 受け継がれる思い

大隈は早稲田大学創設だけではなく、他の教育機関に対しても援助を惜しまず、通信教育も実施しました。女子教育にも熱心で、女性が能力を發揮すべきと考えました。娘の熊子にも思いはつなぐれ、佐賀高等裁縫学校に無名で寄付しました。晩年の熊子の写真は貴重です。

国民葬と県民葬

知行地平ヶ里から東京の葬儀に参列した人々と大隈との繋がり。県民葬の列にひるがえったであろう川上村有志の恭送の幟が通った道をたどります。

職員によるギャラリートーク

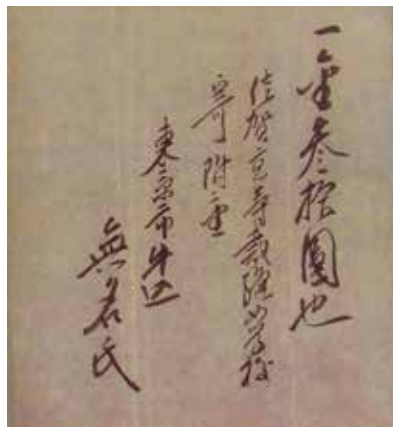
下記日程において、当館館長と学芸員による企画展を解説するギャラリートークを開催します。お気軽にご参加ください。

日時：2月11日(木/祝)、3月7日(日) 13:30~14:00

料金：不要(ただし入館料が必要です)



晩年の大隈熊子(当館蔵)



大隈熊子による無名の寄付証書(当館蔵)



県民葬の順路(地図提供:佐賀県立図書館)

大隈重信記念館

〒840-0054 佐賀県佐賀市水ヶ江二丁目11番11号

TEL 0952-23-2891

<https://www.okuma-museum.jp>

「佐賀市 大隈重信記念館」で検索



↑HPIはこちらから



↑FBIはこちらから

【交通アクセス】

佐賀駅バスセンターより[20][21][23]「大隈重信記念館入口」バス停下車、会所小路を東へ徒歩5分

長崎自動車道佐賀大和ICから車で30分

佐賀城本丸歴史館から徒歩10分

佐賀市歴史民俗館から徒歩10分

50台程度(大型バスも数台可能)

